

広島県看護連盟通信

一粒のちから

HITOTSUBU NO TIKARA

第173号

2026年1月31日発行

会員数
(2025年度)
5,587名

CONTENTS

新年のごあいさつP1
日本看護連盟会長ごあいさつP2
新年のメッセージ (国会議員)P3
研修会報告P4
友納りお議員 施設訪問P5 P6



あけましておめで

新年のご挨拶

広島県看護連盟 会長 板谷 美智子

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまには、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年7月の第27回参議院選挙では、看護職組織代表として、石田昌宏参議院議員を三期目の国政に送ることが出来ました。大変に厳しい選挙戦でしたが、看護協会と緊密な連携のもとに、会員の皆さまと役員一同力を合わせ走り抜きました。現在、石田参議院議員は友納参議院議員と強力なタッグを組み、病院経営や看護職の処遇改善に関する補正予算の獲得や6月に行われる診療報酬改定に向けて目覚ましい活躍をしています。改めて国政の場に看護職組織代表がいることの重要性を実感しています。

公益社団法人日本看護協会は「看護の将来ビジョン2040」を策定し、看護職のあるべき姿を示しています。中でも今後専門職としての自律した判断と実践は、やりがいをもって働く看護職の基盤となります。併せて看護職一人ひとりのウェルビーイングの重視も求められます。しかし、超少子高齢社会にあって、看護の未来は大変厳しい環境にあり、今医療は変革の真っ只中にあります。「看護の将来ビジョン2040」の実現に向けて、看護職が看護に誇りとやりがいを持ち働き続けられる環境整備は喫緊の課題です。

今年も、広島県看護連盟は看護の灯を高く掲げ、看護の課題解決に向けて会員の皆さまと共に、楽しく連盟活動を推進してまいります。



公益社団法人
広島県看護協会 会長 黒瀬 真理子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も広島県看護協会の事業へご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げ、皆さまの看護への想いと行動力、日ごろの活動の賜物であり、感謝と敬意を表します。

日本看護協会は、昨年、日本の社会保障改革の次なる照準となる2040年に向けて「看護の将来ビジョン2040」を公表しました。このビジョンでは、「看護職一人ひとりのウェルビーイングの重視」が、看護職が活躍する基盤として、重要とされています。看護職が日々の看護実践にやりがいを実感し、心身ともに充実して働ける環境を築くためには、私たち自身の意識の変革とともに、組織の力、看護政策を形にして実現する力が欠かせません。広島県看護協会は、このビジョンの実現に向けて、これからも看護連盟と緊密に連携し、現場の課題を政策へ、そして政策の成果を現場へと還元できるよう取り組んでまいります。

今年も医療・看護を取り巻く環境は、さらに加速して変化していくことと思います。変化を恐れず、看護連盟・看護協会ですっかりスクラムを組んで活動し、変化を私たち看護職のチャンスとしていきましょう。

2026年が、看護職にとって飛躍の年となり、会員お一人おひとりにとって幸多き一年となりますよう祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



とうございます

日本看護連盟 会長 高原 静子



新年、明けましておめでとうございます。

皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。

今年の干支は「丙午」です。この年は、丙(ひのえ)と午(うま)とが組み合わさった特別な年で、60年に一度訪れます。丙午の年は、「情熱」や「挑戦」の年ともいわれています。

会員の皆様のご理解と、ご協力の下、日本看護連盟、都道府県看護連盟が協力し合い、「強い組織」を目指し、情熱をもって挑戦していく年にしたいと思います。

若年世代の減少が進む中、日本の社会、経済はこれに対応を迫られています。DXをはじめとした技術革新は人々の生活を一変させる可能性があり、看護もその例外ではありません。後期高齢者の更なる増加、認知症をはじめとする医療・介護の複合的なニーズを有する人々の増加につながり、その治療や療養、そして看取りの場は在宅等、地域を中心としたものへ移行していくでしょう。

日本看護協会は、社会、医療の変容を踏まえ、その変化に対して看護が進むべき方向性を「看護の将来ビジョン2040～いのち・くらし・尊厳を守り支える看護～」を公表しました。

日本看護連盟は、日本看護協会、都道府県看護連盟・看護協会、看護職国会議員、看護を支援してくださる議員の皆様と連携し、よりよい医療・福祉の実現に向けて一層の努力を重ねていく所存です。

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

祝

友納りお 参議院議員

環境大臣政務官・内閣府政務官
就任

今後ますますのご活躍とご健勝を祈念いたします

衆議院議員 あべ 俊子

新年あけましておめでとうございます。旧年中の多大なるご支援に心より感謝申し上げます。

あべは昨年10月に文部科学大臣を退任致しました。文部科学大臣在任中は、「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいたお陰です。

看護職の皆様が直面されている課題は多岐にわたり、その中で培われた経験と知識は、まさに地域社会にとって不可欠な財産であると深く認識しております。

本年も、看護職の皆様が安心して働き続けられる環境づくり、そして専門職としてのさらなる資質向上を支援するため、看護連盟の皆様と連携を密にしながら、より一層努めてまいります。

皆様にとって、本年が実り多く、健やかな一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のメッセージとさせていただきます。



参議院議員 石田 まさひろ

広島県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

日々、患者さんに寄り添い、支え続けてくださる皆様に、心から感謝と敬意を申し上げます。

国会では、参議院自民党・国会対策副委員長、厚生労働委員会理事、予算委員会委員等を務めています。特に国会対策委員会は国会運営の“縁の下の力持ち”として、他政党との交渉、法案の提出時期の調整、自民党内の所属議員に対しての内部調整等を行います。小さなミスで国会が止まりかねない緊張感の高い役割です。円滑な国会運営を支えてまいります。

本年は診療報酬改定が予定されています。物価高や人件費上昇に対応した診療報酬の大幅な引き上げはもちろんですが、記録類や手続きの簡素化を重点に据えて活動しています。これは、看護職が本来のケアに集中できる環境を整えるために欠かせない取り組みでもあります。

看護の未来を切り拓くため、皆様が誇りを持って「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりに向け、2026年も引き続き尽力してまいります。



参議院議員 友納 りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、環境大臣政務官兼内閣府大臣政務官（原子力防災）という新たな職務をいただき迎えています。担務は、サーキュラーエコノミー、環境汚染や化学物質などによる健康被害・熱中症対策、東日本大震災からの復興などです。

昨年は、内閣府大臣政務官として、こども家庭庁（母子保健含む）、男女共同参画・女性活躍、共生・共助、孤独・孤立、国際保健、科学技術、宇宙、AI など幅広い分野を担当し、視野と人脈を大きく広げることができました。

看護職の処遇改善、夜勤人員の確保、医療 DX を用いた業務負担の軽減、医療安全の推進、ハラスメントなど、現場の声を大切にしながら引き続き取り組みを進めます。「看護の現場の声を国政に！」初心を忘れず、目の前の課題に丁寧に1つ1つ向き合い、皆さまの期待に応えてまいります。

本年が皆さまにとって健康で幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



研修会報告

令和7年度 施設代表者等研修会 (看護協会・看護連盟共催)に参加して



令和7年10月15日に開催された広島県看護連盟・看護協会共催施設代表者等研修会は、「このままでいい?看護職の処遇」をテーマに、五反方正彦氏(石田まさひろ議員秘書)を講師に国・県・医療機関の最新動向や現場の課題、看護職自身の自助努力と政治参加の重要性、グループワークによる現場の声の共有と合意形成の意義を深く学ぶ場となりました。

今後、看護職の処遇改善と組織活動の発展には、以下の3つのアクションが不可欠です。

1. 制度・補助金・診療報酬の最新動向を踏まえた処遇改善策の実行
2. キャリア開発と評価・処遇の連動によるやりがいと納得感のある職場づくり
3. 看護連盟・看護協会への積極的な参画と現場の声の政策反映

これらの取り組みを通じて、看護職一人ひとりが専門性と自律性を発揮し、安心して働き続けられる環境を実現し、「今日もいい看護が出来た」と実感できるように連盟会員としての活動を行っていききたいと思います。

広島県看護連盟 幹事長 田村幸美



友納りお議員 施設訪問



安芸市民病院



済生会広島病院



中電病院



広島はくしま病院



太田川病院



庄原赤十字病院

みんな笑顔で
頑張っています!



市立三次中央病院



三次地区医療センター



庄原市立西城市民病院



広島県立三次看護専門学校



広島県看護協会 訪問看護事業局



2026
年度

看護連盟会員を募集中です。

—あなたの入会が、看護連盟の大きな力になります—

私の「とっておき」

～50ccの原付と旅～

私にとっての「とっておき」の旅。それは、相棒である50ccの原付バイクと共に出かける、気ままな冒険です。

私の愛車は、一見するとただのスクーター。しかし、この小柄な車体には、旅の「自由」を凝縮した魅力が詰まっています。

原付の旅は、高速道路も、急ぐ必要もありません。流れる景色は常に窓の外ではなく、肌で感じる風の中にあります。

季節の匂い、エンジンの振動、田んぼを渡る風の音...五感のすべてが、旅の一部になります。原付なら、ふと思いついた瞬間に路肩に止め、その瞬間の「発見」を楽しむことができます。

50ccの原付は、どこへでも行ける自由と、そこでしか見つけられない豊かな発見を与えてくれる、私にとって最高の旅の相棒です。

福山・府中支部 寺岡記念病院 安部 雅志



研修会のお知らせ

会員研修会

日時：令和8年2月22日(日) 13:30～15:30
 場所：ホテルグランヴィア広島
 テーマ：「国政報告」
 講師：友納 りお参議員議員

ポリナビワークショップin広島

日時：令和8年2月28日(土) 13:30～15:30
 会場：広島県看護協会 大研修室
 テーマ：「医療看護で活用できる生成AIについて」
 「SNSの効果的な活用やITリテラシーについて」
 講師：椿 美智博先生 (北里大学看護学部臨床看護学)



日本看護連盟
 YouTube
 チャンネル



広島県看護連盟青年部

インスタを開設しています
 内容も充実させていきますので
 フォローをお願いします!



HIROKAN_SEINENB

■ 不要な羽毛ふとんはどうしますか？

- 捨てる
- 捨てない



とても素晴らしい回答ですね!

羽毛ふとんの多くは一代で役目を終えて、使用された羽毛は廃棄処分されています。しかし、羽毛は耐久性に優れており、捨ててしまうのは「もったいない」資源です。限りある天然素材である羽毛を有効活用している会社があるのを知っていますか？

東洋羽毛では、不要になった羽毛ふとんの回収を行います。

リサイクル羽毛「LinkDown」として再生しています。

また、羽毛がらタンパク質を抽出し、「ソノクワラチン®」として工業用途に再利用しています。

※羽毛由来の加水分解ケラチン



編集後記



1月6日の島根・鳥取でのマグニチュード6.4の地震では広島も震度4を記録し、勤務中に揺れを体感した人も多かっただろう。南海トラフ地震の発生の切迫性が言われる中、私たちは揺れの大きい地震を経験しても、どこか「まだ大丈夫」と思ってはいないだろうか。

家庭では非常時の避難袋、ストックを持つなどしている人が増えた。看護師として減災のためにどんなことができるだろうか。私たち自身はもちろん、療養者の命も守る準備ができていないか。平時に考え、言葉にして、共有しておくことが、非常時の迷いを減らす。

私たちは普段から療養者の置かれている状況をみて予測しながら対応している。少し視野を広げて、その周りの環境も安全なのか今一度見直してみなければいけない。地震を経験するたびに、その機会が訪れている。あの時やっておけば...という後悔が無いように。「いつ来ても大丈夫」と自信を持って言えるように。

(広報委員一同)

東洋羽毛中国販売(株) 広島営業所 ☎ 0120-828226